

**長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式**

① 研究課題名	機械学習と radiomics 解析を用いたトモセラピー治療計画における患者個別検証結果の予測
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2019年9月から2024年5月に長岡中央総合病院においてトモセラピーで放射線治療が行われた、前立腺 IMRT 症例 308 症例、頭頸部 IMRT145 症例、合わせて 453 名 (研究責任者：長岡中央総合病院 放射線科 坂井まどか)
③ 概要	強度変調放射線治療（トモセラピー）では、照射が正確に行われているかを治療が始まる前に確認することが非常に重要です。放射線治療計画を実際に照射して測定した線量と、計算した線量を比較して、その差が小さいことを確認しています。しかし、この確認方法は手順が多く時間がかかるので、患者さんが放射線治療を開始するまでの準備期間を長めに確保する必要があります。本研究では放射線治療計画から計算できる様々な数値を使って、照射が正確に実施できるかを簡便に確認する新しい手法を開発することを目指しています。研究で使用するデータは、すでに放射線治療が完了した方のデータを使うため、患者さんの放射線治療への影響は一切ありません。また、本研究に伴って新たにデータを取得する必要はないため追加の被ばくは一切ありません。取得したデータは匿名化後に当院および下記記載の共同研究機関で解析を実施します。
④申請番号	第 637 号
④ 研究の目的・意義	強度変調放射線治療（トモセラピー）の照射が正確に行われるかを簡便に確認する新しい手法を開発すること。
⑤ 研究期間	倫理委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	使用するデータは、個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることは一切ありません。
⑧利用または提供する情報の項目	前立腺 IMRT 症例、頭頸部 IMRT 症例の放射線治療計画用に撮影された CT 画像、放射線治療計画情報、線量検証結果
⑨利用の範囲	長岡中央総合病院および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学大学院保健学研究科：宇都宮悟（准教授）、阿部和希（修士課程 1 年）、阿部一樹（修士課程 1 年）、保理江幹大（学部 4 年）、蓮田剛士（学部 4 年）
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院 放射線科 診療放射線技師 坂井まどか
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院 放射線科 坂井まどか 940-8653 新潟県長岡市川崎町 2041 番地 TEL0258-35-3700（代表）